

川俣駅西口、ホテルが動き始めます！

第92回町長コラムにてご紹介しましたが、令和4年3月16日に「東武伊勢崎線川俣駅西口ホテル温浴複合施設進出協定調印式」が行われました。

そして、ついに令和5年7月13日、川俣駅温泉付きビジネスホテル（仮称）の起工式が執り行われました。建築主の(株)デベロップ様、融資先の(株)九州リースサービス様、設計の(株)梓設計様、施工の河本工業(株)様、(株)邑楽館林まちづくり会社、そして区長会長、地元区長及び町議会の関係者の皆様、総勢50名余りで厳粛の内に行われました。これからいよいよ工事が始まってまいります。



ホテルは民間資本の誘致です。ホテル本体は、約19億円（消費税込み約21億円）、ホテル内の什器じゅうきは約1億円をかけて、(株)デベロップが負担して建設します（一部の避難施設・非常用発電等には町が補助します）。

これまで、私は多くのホテルに直接誘致交渉してまいりました。しかし、ホテルチェーンのほとんどが建物は地元資本家負担で、運営だけを

ホテル側が行うという方法でした。立地条件に恵まれた場所へ建てる以外は、自己資金で出店してくれるホテルは見つかりませんでした。

そんな中、第76回町長コラムにてご紹介しましたが、令和3年2月3日に「災害時における移動式宿泊施設等の提供に関する協定」締結式で、初めて(株)デベロップの岡村社長と知り合い、お話しをする中で、ホテル建設の約束をいただきました。そして、ついにこのホテル起工式を迎えることができました。

本当に、岡村社長と出会えたことに感謝申し上げます。ホテルが、明和町の新しいランドマークになることを楽しみにしております。



【最前列左から、河本工業(株) 河本会長、(株)梓設計 前田専務、(株)九州リースサービス 磯山社長、(株)デベロップ 岡村社長、吉永宮司、私、堀口議長】

私が町長に就任する前（平成26年度決算）では、税収が約18億円、借金（特別会計含む）が約101億7千万円ありました。平成27年4月に、町民の皆様のご支持により町長に就任した時に、これはなんとかしなければと思いました。

そこで私は、町の財政をよくするため、群馬県や関東農政局と協議を重ね、企業誘致に励みました。そして、多くの資本家の方と出会い、「よりよい町に」という同じ志を持った民間事業者とともに、持続可能なまちづくりをしてまいりました。

その結果、令和4年度の決算見込みで、税収は約36億7千万、借金（特別会計含む）は約80億4千万円と約21億円減らし、そして、貯金（基金）は、私の知る限り過去最高の約37億円となりました。

企業誘致し、官民連携を愚直に行った8年間。その成果が数字として表れたと思います。

今年は、社会体育館と中学校体育館に停電時（避難場所）でも使えるガスエアコンを設置いたします。次年度には、東西小学校の体育館にも設置を考えています。また、東西小学校、中学校の南校舎が建築後60年を迎えるため、安全面からも整備をしなければなりません。多額の費用がかかりますが、そのためにもさらに財政を良くする必要があります。

未来ある明和町のために、オールインワンのまちづくりを目指して、まだまだ私のやるべきことはたくさんございます。今後も、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年7月31日

明和町長 富塚もとすけ